

総 説

1. 職員現員数

58.6.1現在

区 分	総務課	漁場開発科	海洋資源科	境港分場	試験船	
					第1鳥取丸	第2鳥取丸
場 長	1					
次 長	1					
科・分場長		1	1	1		
主任・主事	1					
専門技術員				1		
運転士(自動車整備士)	1					
研究員		2	1	1		
技 師			1			
船舶乗組職員					13	4
計	4	3	3	3	13	4

2. 事務分掌

58.6.1現在

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
	場 長	小田切 忠 夫	場の総括
	次 長	井 上 典 三	} 人事・予算・庶務等の総括
	課長(兼)	井 上 典 三	
総務課	主 任	牧 野 節 子	給与・文書・経理
	自動車整備士	博 田 則 義	公用車の運転・管理
漁場開発科	科 長	井 上 忠 雄	浅海漁場開発・海域総合開発調査等科の総括
	研 究 員	松 本 勉	内水面増殖試験・魚病研究試験
	〃	渡 部 俊 明	沿岸漁場造成・大規模増殖場造成・漁場環境調査
海洋資源科	科 長	野 沢 正 俊	沿岸資源生態・餌料生物調査等科の総括
	研 究 員	西 田 輝 己	人工礁漁場造成事業・海洋牧場開発調査
	技 師	山 田 英 明	白イカ資源開発・沿岸漁海況調査
境港分場	分 場 長	佐 野 茂	200カイリ水域内資源・底魚漁場調査等分場の総括
	専門技術員	永 井 浩 爾	水産業改良普及活動の指導
	研 究 員	川 口 哲 夫	沖合漁海況・新漁場開発・浮魚漁場調査

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
第 1 鳥取丸	船 長	前 田 勝 美	第 1 鳥取丸の運航・維持管理
	機 関 長	大 西 宏 好	〃 機関管理
	航 海 士	小 谷 弘 文	〃 漁労機器等の維持保全
	〃	川 西 恒 信	〃 乗組
	機 関 士	浜 田 利 幸	〃 〃
	〃	宮 脇 富 士 男	〃 〃
	〃	橋 本 栄	〃 〃
	通 信 士	松 本 仁	〃 無線機器等の維持保全
	船 員	宇 野 巍	〃 乗組
	〃	吉 沢 盛 夫	〃 〃
	〃	岩 崎 光 真	〃 〃
	〃	森 脇 隆 志	〃 〃
	〃	生 田 繁 行	〃 〃
第 2 鳥取丸	船 長	早 野 一 成	第 2 鳥取丸の運航・維持管理
	機 関 長	田 中 洵	〃 機関管理
	航 海 士	沢 富 一	〃 無線機器等の維持保全
	船 員	山 下 秀 実	〃 漁具等の維持保全

3. 事業別予算（昭和58年度当初）

事 業 名	予算額（千円）	摘 要
水産試験場費	67,339	
管理運営費	8,152	
一般管理費	8,152	単県
試験研究費	46,557	
資源生態調査費	14,786	
沿岸重要資源生態調査費	561	単県
200カイリ水域内漁業資源調査費	4,310	国委 $\frac{10}{10}$
海洋牧場開発調査費	5,915	国委 $\frac{10}{10}$
白イカ資源開発利用研究費	4,000	国補 $\frac{1}{2}$

事業名	予算額 (千円)	摘要
漁場環境調査費	3,023	
沖合漁海況調査費	1,408	国補 $\frac{1}{2}$
沿岸漁海況調査費	779	単県
餌料生物調査費	836	単県
漁場開発試験調査費	27,184	
浮魚漁場調査費	12,091	{ 単県 収入 財産
底魚漁場調査費	6,930	{ 単県 収入 国委 $\frac{10}{10}$ 財産
沿岸漁場造成技術開発試験費	1,233	{ 単県 国委
新漁場開発試験調査費	6,930	{ 単県 収入 財産
増養殖技術開発試験費	1,564	
魚病対策試験費	1,000	単県
養殖業試験費	564	単県
船舶維持費	12,630	
第1鳥取丸維持管理費	10,976	単県
第2鳥取丸維持管理費	1,654	単県